

## 教育委員会の取組 (桜川市教育委員会)

分類	④
見出し	Google フォームを活用した連絡・相談システム
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が欠席・遅刻・早退を Google フォームに入力して学校へ送信する。フォームには、児童生徒の登校状況だけでなく学校に相談したいことの有無の入力を必須とする。</li> <li>・児童生徒の相談事や悩み、不安を即時にキャッチできるよう、相談目安箱としての Google フォーム（児童生徒用）を構築する</li> </ul>
導入の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との朝の電話対応の削減。担任が教室で連絡を受けられる。</li> <li>・担任が教室で連絡を受けられることで、児童生徒と向き合う時間が増えた。</li> <li>・保護者の困り感の早期発見・早期対応につながり、全体的な対応時間が減少した。</li> <li>・学校においては、連絡・相談が一覧になり見える化された。</li> <li>・児童生徒は、人目を気にせず直接先生に話したいことを伝えられるようになった。</li> </ul>
課題・対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本格運用をしてから半年以上たったが、スムーズに運用されている。</li> </ul>
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の相談は、メールでやりとりせず、電話や面談で対応する。</li> </ul>

## 教育委員会の取組 (桜川市教育委員会)

分類	④
見出し	デジタル教材の共有
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT を活用した教材作成の研修を実施し、誰もがデジタル教材を作成できるようにした。</li> <li>・ロイロノート内に桜川市教師用共有フォルダを作成し、教員が自作したデジタル教材を保存。市内で共有できる仕組みを作った。</li> </ul>
導入の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT を用いると短時間で教材を作成できることを実感し、ICT を活用して教材を作成する先生が増え、時間の有効活用が進んだ。</li> <li>・市内でデジタル教材を共有する仕組みができたことで、デジタル教材を使いたいときに使いたい場ですぐに活用でき、教材印刷の時間が短縮された。</li> <li>・授業実践における好事例及び自作教材の共有が進み、互いの教材研究に生かすことができた。</li> </ul>
課題・対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常にフォルダを整理しなければならない。</li> <li>・フォルダ作りのルールを共有し使いやすい状態にする。</li> </ul>
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率と効果の両方を高めるために、共有する教材を精査する。</li> <li>・気軽さ・便利さから無断で流用したり、教材研究を怠ったりすることなどがないように、マナーを守って、共有された教材を使う。</li> </ul>